

さいたま交流分析研究会 9月10月例会のお知らせ

2学期が始まり、自由だった生活が一転し、規則正しい生活に戻ってしまい困惑している子ども達も多いのではないのでしょうか、子どものリズムに合わせる自由度も大切ですね！余裕を持って子ども達にも接しましょう。『傾聴』の心・『笑顔』で挨拶・励ましの言葉・認める言葉も大切です。「いつでもお話し聞くよ！」の声掛けと「どうしたの？」の声かけをしましょう。安心で安全な環境づくりをしましょう。

よくよくお話ししましょう！

9月例会

- 1 日時 令和元年9月28日（土）午後2時～4時45分まで
- 2 場所 与野本町公民館（第1研修室）1階
- 3 内容 『夏休み以降の経過を話そう』AとFCを活用して時系列を大切に・自由な子どもをフル活用して・問題点は何か・どうしたいか？どうなればよいかを考えましょう。
- 4 グループ・スーパービジョンの希望者は、準備してください

10月例会

- 1 日時 令和元年10月13日（日）午後2時～4時45分まで
- 2 場所 与野本町公民館（第1集会室）1階奥
- 3 内容 『行動変容は「気づき」が必要条件です』どの様な言葉掛けをしたらよいのでしょうか？皆で考えてみましょう。いいアイデアが浮かぶといいですね！
- 4 グループ・スーパービジョンの希望者は、準備してください

応用行動分析とは

「ABC分析」；「〇〇出来ない子」は、「今、出来ていないだけ」と捉え、「〇〇出来ている」姿に近づけるには、どうするかABC（行動の「前」「行動そのもの」「後」の3つに分けて整理する事で効果的な解決策を考えます。

Antecedent
A

指示を理解する事が
出来ていない
写真やイラストで時間や
場所を見てわかるように

Behavior
B

やり方を知らない
スキルを身につけていない
具体的手順を作る・初めは
お手本を示そう

Consequence
C

(それまでの経験から)
やる気になっていない
細かく注意しないで、出来て
いることを褒めよう

行動を理解させるために

「シェイピング=行動を形作る」；今出来ている最初の目標ラインを設定 ⇒目標が安定してできるようになったら、少し上の目標ラインを設定（成功体験を重ねる）⇒繰り返してできっ様にする

「課題分析」；複数の行程が重なっている時は、それぞれの行程がどこまでできているかを分析する。

- 順行チェニング；各行程を最初から練習する方法・・・①から順に行う
- 逆行チェニング；各行程を最後から練習する方法・・・⑤から逆に行う
- 全過程定時法；全過程を繰り返し練習する方法・・・①～⑤まで全て行う

例；靴下をはく

- ①靴下を手に持つ ②かかとを下にして両手で『口』を広げる ③つま先を入れる
- ④かかとまで上げる ⑤最後まで上げる

「プロンプト=手掛かり・援助」；弱いもの～強いものまであります。『できるだけ弱いもの』からが原則です。子どもの実態に合わせて行います。

例；電車の乗り降りを行う

{弱い} プロンプト『声掛けをする』⇒『指さし・視覚的な手掛かり』⇒『モデル』
⇒『身体ガイダンス』{強い}

買い物をする（スーパーで）お金を払う段階で；{弱い}『声掛け』（次にどうするんだっけ「間接的な言葉掛け」）（レジに並んでね！「直接的な言葉掛け」）『指さし・視覚的な手掛かり』（レジに並んでねとレジを指さすまたはレジの写真を見せながら）『モデル』（私と同じようにやってね！「実際に手本をやって見せる」）『身体ガイダンス』（私と一緒に並ぼうね！「身体的に誘導する」）{強い}

「行動を増やすためには、行動の後が大事」；良い行動には、その行動が起こりやすくなる『称賛・承認・お楽しみ・やりがい』を

- 『強化』；行動の後に、本人にとってプラスになる経験が伴い行動が起きやすい
- 『強化子』；行動の後に伴わせる事でその行動を増やす物や行動
- 『強化子アセスメント』；子どもの強化子が何か、探す事

状況に応じ、トークンの活用も検討する。お金の代わりとして、シールやコイン等

- 『トークンエコノミー』；トークンを強化子と交換できる手続き。ご褒美を待てない子にも対応できる。あきてしまわない事を考える。

{子どもがやる気にならない場合、「行動の後」を中心に私たちの関わり方を振り返る必要が有ります。}